



KAKE NEWS

学校法人加計学園通信 第4号

発行元

学校法人加計学園広報室
岡山市北区理大町1-1
TEL 086-256-8609

ひとりひとりの若人が持つ
能力を最大限に引き出し
技術者として 社会人として
社会に貢献できる人材を養成する

岡山理科大学・倉敷芸術科学大学・千葉科学大学・岡山理科大学専門学校・玉野総合医療専門学校・岡山理科大学附属高等学校・岡山理科大学附属中学校

「先人の生き方」テーマに 毎月一回 加計ゼミ好評 理大中の位田校長講師に

「温故知新」。加計学園の教職員、OBを対象に、「先人の生き方、言葉」をテーマにした学習の場「加計ゼミナール」が昨年秋から開かれており、参加者たちは、論語の素読や参加者の体験話などを聴くなど、真剣に学んでいます。

加計ゼミは、郷土の偉人をはじめ、先人の生きざまを探求するとともに、故事成語、ことわざなどの由来を学ぼう、と位田隆久・岡山理科大学附属中学校長を講師に、昨年10月から加計学園50周年記念館3階会議室を会場に毎月一回、開かれています。

毎回、孔子の言行録、論語の素読から始まり、全員で大きな声を出しての読み上げの後、位田校長から詳しく内容の説明を聞きます。現在は論語第一巻の「学而第一」を学習。参加者の一人は「論語など学び、自分の知識を深めることはもちろんですが、このゼミを共有することで、加計学園の一員だということも意識できます」と毎回出席し張り切っています。

加計ゼミでは現在約20人が楽しみながら学んでいます。取りまとめをしている加計学園研修室の吉見芳也室長は「多くの職員、OBに参加してもらい、これからの英気も養ってもらえれば」と期待しています。

次回は3月7日午後5時半から、同会場で開催の予定です。

論語素読や故事学ぼう



位田隆久・岡山理科大附属中学校長を講師に、真剣に学ぶ参加者たち

岡山理科大学

理大創立50周年で“葉Book” 50の「なるほど」を一冊に



50の「なるほど」を一冊にまとめた“葉Book”

岡山理科大学は、1964年（昭和39年）、理学部応用数学科と化学科を設置して開学。2014年（平成26年）が、創立50周年となります。この間、40000人を超す卒業生を送り出してきました。現在では、理学系、工学系、情報系、農・医療・生活科学系、人文・社会科学系の5つの学問系列に分かれた、4学部17学科1コースを用意し、日々、実験や研究を繰り返しています。

この50周年を期に、“役立つ情報をあなたのポケットに！”を合言葉に、岡山理科大学が得意とする科学の話題をクイズ形式にして、表に問題、裏に答えを記した“葉（しおり）”を50種類作成することにしました。1種類できあがるごとに、学内外のイベントや丸善岡山支店などで無料配布してきましたが、このたび、全50種が完成しましたので、1冊の“葉Book”として、まとめることにしました。

意外に知られていない情報、知っていても見方を変えると新鮮な話題など、50の「なるほど」を、ぜひ、一枚一枚めくって、理大の！（なるほど）を体験してください。

岡山理科大学附属高等学校 通信制課程

「あきらめないで良かった」 卒業式で感謝の言葉

通信制課程では昨年12月8日、平成25年度Ⅱ期卒業式が本校で挙行政され、12人の卒業生が巣立っていきました。生徒会の生徒たちが「おめでとうございます。」と声をかけながら案内や受け付けを行う中、保護者とともにスーツや着物姿の卒業生が次々と来場。9時半、来賓の方々が入場されると式場内はしんと静まりかえって開式です。

一人ずつ名前を読み上げられると登壇し、校長から卒業証書を受け取ります。その様子を保護者や教員が温かく見守っていました。「卒業証書は君たちが強い意志を持っている人間だと国が保証しているのです」と、目標を達成するために諦めずに困難を乗り越えてきた卒業生に、宮垣嘉也校長は式辞を送りました。そして「目標を持って新たな歩に進んでください」と続けました。

来賓の方からは「自分を知って、他人を知る。自分を認めて他人を認める。人を大切に丁寧生きてください」と言葉が送られました。卒業生からは「在校中に出産し、たくさん迷惑をかけてしまったけれども、先生や家族の大きな愛があったから卒業できます。胸をはれる社会人になります」と涙で感謝の言葉が述べられました。また「諦めないで良かった」「家族として不安な日々を送ってきたけど、先生の言葉に勇気づけられました」など感謝の言葉が飛び交う卒業式となり、卒業生は新たな大きな一歩を踏み出して学舎を巣立っていきました。



卒業証書を受け取る卒業生

玉野総合医療専門学校

女子シングルス 今田静佳さん 優勝 全国専門学校卓球選手権大会 男子は 田中和也君 8強



全国大会出場報告会后、中庭にて

第29回全国専門学校卓球選手権大会(全国専門学校体育連盟、全国専門学校卓球連盟主催)が昨年12月11日、12日の二日間、東京の駒沢オリンピック公園総合運動場・体育館で行われ、女子シングルスで本校卓球部の今田静佳さんが優勝、男子同では田中和也君が8強入りしました。

本校から男子4人、女子2人が出場し、女子シングルの部では優勝という輝かしい成績を収めることができました。その他の学生も優秀な成績を残し、日ごろの努力が報われる結果となりました。また、教員の部男子シングルスでは、井村亘・作業療法学科専任教員が3位入賞。今回の大会は「卓球王国Tamasen」の底力を全国へ知らしめる良い機会となり、出場した学生は学内では決して味わうことのできない、将来の糧になる貴重な体験ができました。

今田さんは「先生方や部員の皆さんの支えがあり優勝できました。中学生から卓球を続けてきましたが、優勝は初めてで嬉しかったです。今回の経験を今後の学校生活に生かしたいと思います」と話し、田中君は「顧問の井村先生の指導のもと頑張って練習し、ベスト8の結果を出せました。今年も全国大会に出場し、さらに良い成績を取れるように頑張りたいです」と意欲を見せていました。

岡山理科大学附属高等学校

ドラフト広島2位の九里さん 後輩たちにメッセージ

教育実習

広島からドラフト2位指名を受けた本高校出身で、亜細亜大学の九里亜蓮さんの教育実習が昨年11月22日から2週間行われました。2日前の20日には、大学日本一を決める明治神宮野球大会の決勝戦があり、九里さんが所属する亜細亜大学(東都リーグ)が明治大学(東京六大学リーグ)に2対1で競り勝ち、ピッチャーの九里さんは5回無失点に抑える大活躍をしています。

前日岡山入りし、22日には元気に登校。朝9時には、担当の健康・スポーツコース2年生のクラスに入っていました。まず「亜細亜大学の九里亜蓮です」と自己紹介した後、高校や大学時代を振り返って、後輩達にメッセージを続けました。中学時代は学校や練習が嫌だったことから話が始まり、高校時代の寮生活を通して家族に感謝するようになったと。そして「世界で親は一人しかいない」と語りました。

生徒たちから「僕と鬼ごっこをしたこと、覚えていますか」との質問に、地元の米子の話で盛り上がりました。「大学での自主練習は?」「好きな食べ物?」「もてますか?」などの質問が飛び交う中、「僕は細くて太れないんですが、どうしたら太れますか?」の質問には、自分も太れなくて苦労した経験談を交えながら「お米を食べる」と親身に答えていました。公民の教員免許取得のために多くを学び、夕方からはグラウンドでの練習にも参加しながら在校生との交流を深めて2週間の教育実習を終りました。



後輩の前に教育実習する九里亜蓮さん

吉備高原学園高等学校

韓国・全南女子商業高が本校訪問 日本体験研修の一環で



本校と韓国・全南女子商業高校の生徒たち

1月21日に韓国光州広域市にある全南女子商業高校の生徒15人と引率の先生4人が、本校に日本体験研修の一環で来校されました。全南女子商業高校は加計学園が教育交流協定を締結されている海外の学校の一つで、一昨年12月に初めて本校に訪問し、今回が2回目となります。

また、一昨年の来訪が両校の教育協定を締結するきっかけとなり、両校の生徒の前で教育交流協定書の交換を行い、よりよい関係を築き交流を行う事を約束しました。

当日は本校のインターナショナルコースの生徒達が玄関で出迎え、本校の特色でもあるクラフトデザインコースで凧作りを体験するなど、同じ高校生同士、本校での一日の研修を通して、楽しく交流を深めることができ、思い出となったと思います。研修団の一行は、吉備中央町長への表敬訪問も行い町長より歓迎の挨拶をいただきました。

英数学館小・中・高等学校 初の「英数学館杯 English コンテスト」 「My Dream」テーマにスピーチ

「グローバル教育への挑戦」を掲げる英数学館では、日ごろ学んだ英語を Output する場として、1月11日に小・中学生を対象に「第1回 English コンテスト」を開催しました。

第1部の「スピーチコンテスト」では、17人が、小学校低学年、高学年、中学生の3部門に分かれ、「My Dream」をテーマに英語でスピーチしました。「医者になって世界の苦しむ人を助けたい」「英語を生かした仕事がしたい」「今まで続けてきた陸上で東京オリンピックに出場したい」など、どれも個性あふれる興味深い内容でした。第2部は、英語で聞きながら、考えながらの楽しい「English クイズ」。また、オーストラリアの高校の先生とオーストラリアの学校や文化について Skype で交流する機会もあり、大好評でした。

特別審査員に、株式会社エスプリラインの大谷登社長らを迎えての審査の結果、最優秀賞に ▶ 小学校低学年の部 北村海渡君（ぎんがの郷小2年）▶ 小学校高学年の部 柏木裕美子さん（英数学館小6年）▶ 中学生の部 田頭穂香さん（府中市立府中中2年）が選ばれ、審査員特別賞は、田頭若奈さん（府中市立旭小1年）と日高莉乃さん（福山市立神辺東中1年）が獲得しました。

参加者たちは、大勢の前で英語スピーチに挑戦したことで自信につながっただけでなく、他の友だちのスピーチを聞いて良い刺激も受け、有意義なイベントとなりました。



コンテスト出場者たち

倉敷芸術科学大学 全員合格の快挙 「細胞検査士1次試験」 「実験動物技術者試験(1級) 学科試験」

本学の生命科学部では、研究のみならず、医療系資格取得のサポートも行っています。細胞検査士と臨床検査技師のダブル・ライセンス取得が可能な生命医科学科。昨年10月実施の細胞検査士1次試験の合格率は100%! 全国平均約50%の1次試験合格率の中、今回受験した20人は全員合格の快挙です。

また、動物看護と動物実験の各分野で動物のスペシャリストの育成をめざす動物生命科学科。実験動物技術者試験(1級)の合格をめざす学生は、基本的に3年次で学科試験、4年次で実技試験に挑みます。昨年9月に実施された学科試験には、受験した14人全員が合格しました。全国平均約50%の学科試験に対して合格率100%、学生の頑張りが表れた結果でしょう。



細胞検査士をめざして

岡山理科大学附属中学校 英検1級に見事合格 1年 川原 月さん

本校1年の川原^{るな}さんが、2013年度第2回実用英語技能検定(英検)で、「1級」に合格しました。英検1級は、英検の試験の最終目標となる級で、広く社会生活で求められる英語を十分理解し、使用できることが求められます。試験内容は、一次試験(筆記とリスニング)と二次試験(面接形式のスピーキングテスト)に分かれています。

合格した川原さんは、「二次のスピーキングテストは楽しくできました。一次試験の筆記とリスニングに向けて毎朝10分間のネットニュースを聞き、新聞(The Japan Newsなど)を読んで総合的な英語力を高めました。受験後は、自己採点を行い、200字のエッセイで点数がとれていることを確信し、合格の自信がありました」と英検を振り返りました。今後は、「国連英検に挑戦していきます」と、新たな目標に向かっていきます。



「次は国連英検に挑戦」と張り切る川原月さん

岡山理科大学専門学校 建築学科、動物看護学科が好成績 競技会、発表会で

本校の建築学科、動物看護学科が参加した競技会、発表会でそれぞれ優秀な成績を収めました。



まちづくりをテーマにした模型の前に、受賞を喜ぶ学生たち=1年生チーム

「ワンデーエクササイズ」で11年間連続受賞

岡山県内の建築系学科の高校生、大学生、専門学校生が参加して昨年11月9日に旧内山下小学校で開かれた建築設計競技会「ワンデーエクササイズ」で、本校建築学科は、専攻科チームが優秀賞、2年生チームは奨励賞を受賞。1年生チームがOKC(岡山建築設計クラブ)賞、日本建築学会中国支部岡山支所長奨励賞のW受賞を果たし、7賞中本校が4賞を獲得しました。11年間連続受賞でもあります。今大会は、岡山市民会館、旧内山下小などを含んだエリアでのまちづくりがテーマで、参加した本校の学生たちは、模型やパネルを示しながらプレゼンテーションに取り組みました。

動物臨床医学会研究発表で優秀研究発表賞

動物看護学科は、11月16日(土)大阪国際会議場で行われた、第34回動物臨床医学会の研究発表で、「冷凍保存された血液の保存時間による検査値の変動」についてポスター発表。動物病院などで勤務する現職の動物看護師や本校のような学生など合わせて、49チームがエントリーした中で、本校チーム含む3チームが見事、優秀研究発表賞を受賞しました。

本校チームの発表は、血液の検査経過に着目。試験の結果、血液の検査は時間の経過により変動する項目としない項目があり、「赤血球数やグルコース値はすみやかな測定が求められ、全血は採血した時点でなるべく早く検査するべき」と結論付けました。



優秀研究発表賞を受賞した本校チーム



逆光で撮った雲と富士山。雲間から威容を見せる = 山梨県甲府市上空

岡山・東京間など、飛行機に乗った際に、窓際に座って眼下の富士山、南アルプスの山並みや雲海などを撮影。天候の関係などで条件は厳しいですが「チャンスを逃さず、一瞬をとらえたい」とシャッターを切ります。

唐木学長は、これまで撮ってきた作品の中から選び、学内展示会を企画中です。

「チャンス逃さずに」 機上から写真撮影



倉敷芸術科学大
唐木 英明 学長

雲の上から自然を激写。倉敷芸術科学大学の唐木英明学長は、機上から撮影した風景を自身のフェイスブックに掲載し、好評です。

趣味の域を超えた写真撮影は、高校時代から。新聞部の写真班で活躍していました。主に風景撮影を得意としていますが、最近、

岡山理科大への案内標識 要望にこたえ3カ所増設

「岡山理科大学」はこちら。大学へ導く案内標識が、関係機関の支援もあり随時設置、大学周辺合計17カ所に上っています。関係者の間では「分かりやすくなって助かる」「迷いなく大学に行けた」などと好評です。

ここ数年、大学施設の拡大、学部・学科の増加などで、学会、イベント開催やTOEIC、宅地建物取引主任者資格の試験会場になるなど、大学を訪れる人が増加。バスや乗用車での県内外の訪問者も年々増えており、行き先案内の標識の設置が望まれていました。

岡山理科大や関係者の要望を受け、国土交通省や岡山県、岡山市により案内標識の設置が進められ、5年前、国道、県道、市道の14カ所に設けられました。

それ以後、東門に定期バスが運行されると同時に、東門が一般客専用の大学入口となりました。そのため、東門への誘導が必要となり、案内看板の設置が求められていました。

その結果、本年度、岡山市の道路管理課や北区役所維持管理課など関係機関の協力を得て、津島東一丁目のT字路付近など大学周辺の県道3カ所にも新たに設けられました。同所の標識には「岡山理科大学」への「正門」「東門」への矢印が表示され、運転者への利便が図られスムーズな交通に役立っています。



案内標識で交通もスムーズに

千葉科学大学

9都県市 合同防災訓練 本学で開催 大災害の発生を想定



津波災害を想定、大量のがれきを積み上げでの救助訓練

首都圏にある9自治体(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模市)が合同で行う防災訓練「9都県市合同防災訓練」が、昨年9月14日、本学前の駐車場を会場に開催されました。

同訓練は大災害の発生を想定して行われたもので、本学も、危機管理学部棟を救助ヘリコプターの離発着の場所として提供しただけでなく、学生消防隊による「自助訓練」や、危機管理学部、ボランティアセンター、学生消防隊によるブース展示を行いました。また、会場の交通誘導などもスタラビッツを中心に行い、この大々的なイベントに積極的に参加しました。

訓練では、今後発生が予想される「首都直下地震」や「東海地震」などの大災害を想定し、自衛隊、消防、警察や医療関係者の活動のほか、参加各機関が災害時に行う活動が次々に行われました。中には消防や自衛隊のヘリコプターによる救助訓練や、大量のがれきを積み上げて津波災害を想定した救助などもあり、見学に参加した一般市民は自助、共助、公助について考える貴重な機会となりました。

Okayama University of Science
岡山理科大学

〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1
(URL) <http://www.ous.ac.jp/>

OUS Specialized Training College
岡山理科大学専門学校

〒700-0003 岡山県岡山市北区半田町8-3
(URL) <http://www.risen.ac.jp/>

Okayama University of Science Junior High School
岡山理科大学附属中学校

〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1
(URL) <http://www.kake.ac.jp/~info-j/>

Karasaki University of Science and the Arts
倉敷芸術科学大学

〒712-8505 岡山県倉敷市連島町西之浦2640
(URL) <http://www.kusa.ac.jp/>

Tamasa Institute of Health and Human Services
玉野総合医療専門学校

〒706-0002 岡山県玉野市築港1-1-20
(URL) <http://www.tamasa.ac.jp/>

Eisugakkan Elementary, Junior and Senior High Schools
英数学館小・中・高等学校

〒721-8502 広島県福山市引野町980-1
(URL) <http://www.eisu-ejs.ac.jp/>

Chiba Institute of Science
千葉科学大学

〒288-0025 千葉県銚子市潮見町3
(URL) <http://www.cis.ac.jp/>

Okayama University of Science High School
岡山理科大学附属高等学校

〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1
(URL) <http://www.ridaifu.net/>

Kibikogon Gakuen Senior High School
吉備高原学園高等学校

〒709-2393 岡山県加賀郡吉備中央町上野2400
(URL) <http://www.kibikogengakuen.ed.jp/>



学校法人加計学園

〒700-0005 岡山市北区理大町1-1 TEL.086-256-8403 <http://www.kake.ac.jp/>